

8050問題から考える

子ども・若者の育ちと「学校教育」の課題



10:00~16:30

東洋大学白山キャンパス2号館16階
スカイホール (112-8606 文京区白山5-28-20)

資料代 1500円 (学生500円)

認定NPO文化学習協同ネットワーク代表/
JYCフォーラム代表/全進研世話人

講演

佐藤洋作さん

地域から見た子ども・
若者たちの30年~いま
「8050問題」とは何か。

特別
報告

朝日新聞編集委員

清川卓史さん

「8050問題」の取材を
通して

「8050問題」って ご存知ですか？

こうたずねると、多くの方から「8020問題」は知ってるけど、…といった答えが返ってきます。

90年代初めの「バブル崩壊」、90年代末の「就職氷河期」を経て、そして「リーマンショック」(2008)と、大きな社会変動/構造変化の波にのまれ、社会につながる機会を失った「ひきこもり」の若者の長期化・高年齢化が、「80代の親と50代の子どもの世帯の困難」を生んでいます。この問題を、社会全体の課題として考えるための言葉です。

遅ればせながら2000年代半ばから、国の「若者支援施策」が動き始め、学校現場では「キャリア教育」が取り組まれてきました。しかし、雇用政策として「人件費削減」「非正規雇用化」が進む下では、「政策としてのキャリア教育」そのものとのミスマ

ッチ感否めません。中高年となった「ひきこもり」状態について、ようやく当事者の声が上がリ、自治体の調査活動が行われ、遅ればせながら国も実態調査に乗り出すに至っています。

少子化が進みながら、小・中学生の不登校児童生徒の数は増え続けています。「失われた20~30年」を、これ以上長期化させないように、私たちが学校や地域で考え、取り組むべき課題はなんでしょうか。長きにわたり地域から子ども・若者とともに歩んでこられた佐藤洋作さん、現在「8050問題」を積極的に取材されている清川卓史さん、お二人のお話を受けながら、学校で、地域社会でも、ともに「前へ」進む機会となる場を作っていきたいと考えます。ぜひご参加ください。

タイムテーブル

09:45	開場	
10:00	開会	
10:05	10:15	今セミナーへの課題提起/講師紹介
10:15	12:00	講演
—— 昼食休憩 ——		
13:00	14:00	特別報告
14:10	シンポジウム 「子ども・若者の育ちと学校教育の課題」 佐藤洋作さん・清川卓史さん・学校現場から	
15:10	交流/分散会	
16:10	まとめ	
16:30	閉会	

講師紹介



佐藤洋作 1947年生まれ。学生時代から、東京三多摩をフィールドに、学習の遅れのある児童の学習支援、不登校の子どものための居場所作りに携わる。90年代の後半から社会的ひきこもりの若者のための社会参加のプログラムも展開し、2000年代に入ってから、政府や自治体からの若者支援事業の委託を受けて、「若者自立塾」「地域若者サポートステーション」「生保世帯の子ども若者の自立支援」などを実施してきている。著書『君は君のままがいい』『コミュニティベーカー風のみかによこそ』(ふきのとう書房)、編著『ニート・フリーターと学力』(明石書店)、『教育と福祉の出会いどころ』(山吹書店)など。



清川卓史 1969年生まれ。介護保険や生活保護、ワーキングプア問題など、主に社会保障分野の取材を続け、2015年から編集委員(社会保障担当)。取材班の共著に『ロストジェネレーション』『孤族の国』(朝日新聞出版)など。「認知症社会」長期連載に参加、最近「8050問題」を取材、記事で発信中。

会場案内

東洋大学白山キャンパス
〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20
都営地下鉄三田線白山駅から徒歩5分 / 都営地下鉄三田線千石駅から徒歩7分
東京メトロ南北線本駒込駅から徒歩5分 / 東京メトロ千代田線千駄木駅から徒歩15分
その他JR線や路線バスなどでお越しの方は、東洋大学公式サイト
「交通アクセス(白山キャンパス)」をご覧ください。
<http://www.toyo.ac.jp/site/access/access-hakusan.html>

主催：全国進路指導研究会

生きる・学ぶ・働く一子ども・青年とともに未来を拓こう！
☑ <http://zenshinken.jimdo.com/> ☑ zenshinken@hotmail.com

